

『ゲゲゲのゲート 水木しげるが選んだ93の「賢者の言葉」』

水木 しげる／著・水木プロダクション／編 双葉社



「ゲートを読む」となるとハードルが高いですが、こちらはゲートに多大な影響を受けているという漫画家 水木しげるさん独特の解説付きで、ゲートの格言に気軽に触れられる一冊です。水木さんの語り口は飄々としていて一見のんきな人のよう。でも、ゲートとの出会いは、戦争が激化する青春時代に「生きるとは何か」を必死に模索した中でのことだったそうです。生きるか死ぬか、爆撃により左腕を失うという壮絶な体験をした水木さんが、母親を慰めるために書いた手紙は、とても若者とは思えないほど達観しています。

流山市の図書館には、ゲートの本は100冊以上、水木しげるの本はマンガを含めて60冊ほど所蔵があります。興味がわいたら、ぜひ手に取ってみてください。

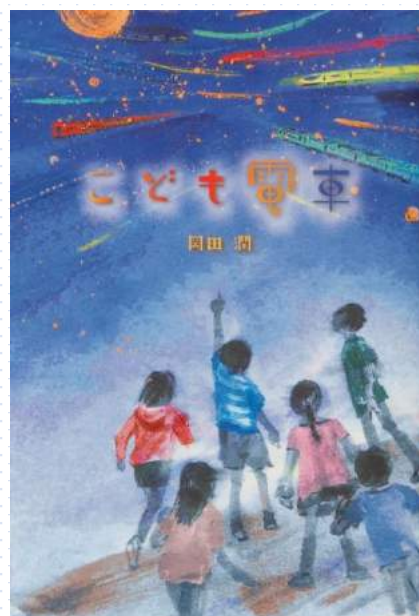
P.N. あずきはかり

アイズによる
アイズのための
アイズノート



P.N. ローサさん

913.6
ムカイ



『かまえ!ぼくたち剣士会』
向井 湘吾／著 ポプラ社



この本をひと言で言う
『けんどう!!』です。
みんなもよんでみてね

P.N. 三毛猫の茶子さん

オ

『こども電車』
岡田 潤／著 金の星社

こどもはねているあいだ夢をみますよね!
こどもは夢の電車、こども電車にのるんです。
それでいろんなところにいけてもーワクワクですよ
でも事件発せい…く〜ドキドキです!

P.N. ゆみさん

編集

後記

『もくほん! 2018 Summer』、ここまでお読みいただき、ありがとうございました。今回はぎゅぎゅと小説を集めてみましたが、いかがでしたでしょうか? 一冊でも気になる本があればさいわいです。もし気になる本があったなら、ぜひ実際に読んでみてくださいね。そして、それがおもしろかったなら、アイズノートに感想を書いてもらえると、とても嬉しいです! 夏は駆け足ですぎていくもの… 平成最後の夏、みなさんにとって素敵な一冊との出会いがありますように…!

それでは、次回『もくほん!』もお楽しみに!!